



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社チノ一 上場取引所 東
コード番号 6850 URL <https://www.chino.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,931	16.9	1,361	24.8	1,528	13.9	1,096	34.8
2023年3月期第3四半期	16,198	10.5	1,091	45.6	1,342	45.6	814	70.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,436百万円 (27.4%) 2023年3月期第3四半期 1,127百万円 (55.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	129.23	—
2023年3月期第3四半期	96.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	35,892	22,316	54.1	2,287.35
2023年3月期	36,289	21,574	51.8	2,214.16

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 19,426百万円 2023年3月期 18,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	52.00	52.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,400	11.0	2,420	19.9	2,620	14.2	1,710	11.3	201.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	9,260,116株	2023年3月期	9,260,116株
2024年3月期3Q	766,970株	2023年3月期	776,534株
2024年3月期3Q	8,488,274株	2023年3月期3Q	8,476,338株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

第3四半期決算補足説明資料は、後日TDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、新型コロナウイルス感染症が5月に感染症法上の分類において5類に移行したことで、社会・経済活動の正常化が進んだものの、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化など地政学的リスクが高まり、エネルギー価格高騰、各国の金融引き締めに伴う景気の減速懸念や不安定な為替相場など、不透明な状況が続きました。

当社グループ事業全般に関係する製造業の設備投資につきましては、経済活動の正常化に伴い総じて堅調に推移しています。加えて脱炭素化に向けた世界的な流れは継続しており、各国政府の後押しも受けて企業の研究開発や設備投資に拡大の動きが続いています。

このような状況のなか、当社グループは、生産・開発の現場で不可欠な高精度温度計測・制御・監視用の製品、システムはもとより、電子部品や新素材等の成長分野における課題を解決するソリューションの提供に注力しています。

また、日本政府は2023年6月6日に改訂された「水素基本戦略」において、水素供給量を2040年に年間約1,200万トンに拡大する数値目標を新たに設定し今後15年間で官民合わせて15兆円の投資を行うとする政策を公表しましたが、当社グループにおいても、需要が急拡大している水素サプライチェーン構築関連分野における温度管理等に関係する受注活動を積極的に展開しております。

売上高については、半導体をはじめとする部材の供給不足が一部を除いて解消され、国内及びアジア地域を中心に増加しました。一方、受注高は前年の対前々年増加率が16.7%と高水準であったこともあり、前年同期比では減少となりました。その主な要因については、前年同期は計装システムセグメントにおいて大型の受注があったこと、及び部材の供給不足が解消に向かうなかで当社製品の生産リードタイムが短縮されてきたことにより前年同期と比べて計測制御機器セグメントを中心にお客様からの前倒し発注が減少したことと分析しています。

利益面では、部材価格の高騰やエネルギー価格の上昇に加え、第3四半期に売上計上した個別大型案件の原価率の影響はありましたが、原価低減の取組みを継続的に推進するとともに、前年度に取り組んだ販売価格の見直しが期初から寄与した結果、当第3四半期連結累計期間として増益を確保しました。

当第3四半期連結累計期間の受注高は20,606百万円（前年同期比4.8%減）、売上高は18,931百万円（前年同期比16.9%増）となりました。利益については、継続的な原価低減の取組み及び販売価格の見直しに加え、増収効果により、営業利益は1,361百万円（前年同期比24.8%増）、経常利益は1,528百万円（前年同期比13.9%増）、政策保有株式の一部を売却したことに伴い特別利益として投資有価証券売却益323百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,096百万円（前年同期比34.8%増）と対前年で増加しました。

なお、当社グループの売上高、利益は期末に集中する傾向があり、各四半期の売上高及び利益は通期実績の水準に比べ乖離が大きくなる傾向にあります。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は6,749百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は860百万円（前年同期比10.7%増）となりました。半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は引き続き高い状態で推移し、グラフィックレコーダ、サイリスタレギュレータ等の売上が増加しました。海外市場においても、中国、韓国等のアジア地域での販売が増加しました。

また、前年同期は中国の都市封鎖によるサプライチェーンの混乱の影響があり、一部の製品の生産・出荷に支障が出たことが、当期の売上高の増加要因のひとつとなりました。

②計装システム

売上高は6,076百万円（前年同期比38.0%増）、セグメント利益は793百万円（前年同期比32.3%増）となりました。脱炭素化関連分野として、自動車向けなどの燃料電池評価試験装置や、水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の受注が拡大しています。

空調用コンプレッサ評価試験装置についても、温室効果の低い自然冷媒対応の需要が活性化しており、受注が増加しています。

③センサ

売上高は5,418百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は961百万円（前年同期比19.6%増）となりました。半導体関連の製造装置向けを中心に放射温度計の需要が好調です。また、AMS規格（航空宇宙産業における特殊工程の規格）対応等の温度センサの需要も堅調に推移しました。

④その他

売上高は686百万円（前年同期比4.6%増）で、セグメント利益は177百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびにセグメント利益 (営業利益)

受注実績 (セグメント別)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	6,513	6,276	△236	△3.6
計装システム	9,086	8,126	△959	△10.6
センサ	5,491	5,597	106	1.9
その他	548	605	57	10.4
合計	21,638	20,606	△1,032	△4.8

売上実績 (セグメント別)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	6,136	6,749	612	10.0
計装システム	4,404	6,076	1,672	38.0
センサ	5,000	5,418	417	8.3
その他	656	686	30	4.6
合計	16,198	18,931	2,732	16.9

売上実績 (地域別)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
日本	12,913	14,771	1,857	14.4
アジア	2,974	3,761	786	26.4
北米	172	246	73	42.9
欧州	83	119	35	42.2
その他	53	33	△20	△37.8
合計	16,198	18,931	2,732	16.9

セグメント利益 (営業利益)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減 (金額)	増減 (比率) (%)
計測制御機器	777	860	82	10.7
計装システム	600	793	193	32.3
センサ	804	961	157	19.6
その他	150	177	27	18.2
全社費用 (注)	△1,241	△1,432	△191	—
合計	1,091	1,361	270	24.8

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて397百万円減少し、35,892百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ546百万円減少し、25,776百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の減少1,494百万円、売上債権の減少1,421百万円、棚卸資産の増加2,338百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ148百万円増加し、10,115百万円となりました。主な増加要因は、建物及び構築物（純額）の増加383百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,139百万円減少し、13,576百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ976百万円減少し、9,512百万円となりました。主な減少要因は、賞与引当金の減少445百万円、仕入債務の減少325百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ162百万円減少し4,063百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少109百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ742百万円増加し、22,316百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日発表の公表値から変更ありません。今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,176	7,682
受取手形、売掛金及び契約資産	5,682	4,325
電子記録債権	2,599	2,535
商品及び製品	706	952
仕掛品	3,658	5,006
原材料及び貯蔵品	4,212	4,955
その他	374	366
貸倒引当金	△87	△46
流動資産合計	26,322	25,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,027	3,410
その他	2,551	2,699
有形固定資産合計	5,578	6,110
無形固定資産		
その他	436	321
無形固定資産合計	436	321
投資その他の資産		
その他	4,008	3,740
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	3,952	3,683
固定資産合計	9,967	10,115
資産合計	36,289	35,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,697	2,328
電子記録債務	2,619	2,664
短期借入金	1,265	1,165
1年内返済予定の長期借入金	459	418
未払法人税等	470	273
賞与引当金	821	375
株主優待引当金	47	41
設備関係電子記録債務	137	132
その他	1,970	2,113
流動負債合計	10,489	9,512
固定負債		
長期借入金	1,660	1,550
長期未払金	188	187
退職給付に係る負債	1,887	1,851
役員退職慰労引当金	135	122
その他	355	352
固定負債合計	4,225	4,063
負債合計	14,715	13,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292	4,292
資本剰余金	4,267	4,278
利益剰余金	11,050	11,550
自己株式	△1,138	△1,126
株主資本合計	18,471	18,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	341	335
為替換算調整勘定	158	254
退職給付に係る調整累計額	△187	△158
その他の包括利益累計額合計	312	431
非支配株主持分	2,790	2,889
純資産合計	21,574	22,316
負債純資産合計	36,289	35,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	16,198	18,931
売上原価	10,917	13,085
売上総利益	5,281	5,845
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,770	1,754
賞与引当金繰入額	130	134
退職給付費用	95	89
役員退職慰労引当金繰入額	19	7
研究開発費	624	800
株主優待引当金繰入額	30	41
その他	1,518	1,656
販売費及び一般管理費合計	4,190	4,483
営業利益	1,091	1,361
営業外収益		
受取利息	7	19
受取配当金	45	53
売電収入	29	29
為替差益	80	67
保険解約返戻金	92	9
その他	28	23
営業外収益合計	286	202
営業外費用		
支払利息	5	7
金融関係手数料	3	4
売電費用	11	12
その他	15	11
営業外費用合計	34	35
経常利益	1,342	1,528
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	13	323
特別利益合計	16	323
特別損失		
固定資産処分損	3	5
特別損失合計	3	5
税金等調整前四半期純利益	1,355	1,846
法人税等	415	596
四半期純利益	940	1,250
非支配株主に帰属する四半期純利益	125	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	814	1,096

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	940	1,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△2
為替換算調整勘定	188	160
退職給付に係る調整額	15	28
その他の包括利益合計	187	186
四半期包括利益	1,127	1,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	930	1,216
非支配株主に係る四半期包括利益	196	220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,136	4,404	5,000	15,541	656	16,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,136	4,404	5,000	15,541	656	16,198
セグメント利益	777	600	804	2,182	150	2,332

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,182
「その他」の区分の利益	150
全社費用(注)	△1,241
四半期連結損益計算書の営業利益	1,091

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,749	6,076	5,418	18,244	686	18,931
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,749	6,076	5,418	18,244	686	18,931
セグメント利益	860	793	961	2,616	177	2,794

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,616
「その他」の区分の利益	177
全社費用 (注)	△1,432
四半期連結損益計算書の営業利益	1,361

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。